

伝大伴部真足女の遺跡(児玉郡美里町)

正面前方に説明板と標柱が見える



ここが「伝大伴部真足女の遺跡」





万葉遺跡

伝大伴部真足女の遺跡

県指定旧跡(昭和三六年九月一日)

ここ一帯は大字広木字御所ノ内と呼ばれています。

堀形の田畑に囲まれた九十メートル四方の遺跡が、防人檜前舍人石前(さきもりひのくまのとねりいわさき)の館跡といわれています。

真足女は、檜前舍人石前の妻で、防人に赴くことになった夫に、この悲しい別れに臨んで、惜別の情を詠じたのが、防人の歌として、万葉集巻二〇に載せられています。

「枕太刀腰に取り佩きまかなしき背ろがまき来む月のしらなく」

この歌は夫を思慕する妻の真情を、遺憾なく吐露したもので、一・二〇〇余年後の今日でも、なお切々として、人の心を打ってやまないものです。

美里町教育委員会

「防人檜前舎人石前之館跡」でもある





参考ホームページ

<http://www.asahi-net.or.jp/~ab9t-ymh/kakuchi/kodama01/sarasii.html>

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/56_msto/meisho.html

<http://www5a.biglobe.ne.jp/hpkoto/ara/manyou/saitamamisatosarashii.html>

<http://blog.goo.ne.jp/nara05m037/e/877a13023904c55fc169887f03d4c02b>

<http://homepage2.nifty.com/kssm/manyou/misato/misato.html>